

愛知県ハンガリー友好協会会報

2015年8月号

《ハンガリーフェスティバル in 愛知》

“ハンガリーの名窯とバルトークの響き”



早稲田みか（大阪大学教授）

2015年6月7日（日）、午後13:30-16:30、愛知県名古屋市の名古屋国際センターホールにおいて、毎年恒例のハンガリーフェスティバル in 愛知が開催されました。



まず、愛知県ハンガリー友好協会を代表して、寺西むつみ愛知県議会議員のあいさつがあり、続いて、来賓（エルデーシュ・アティツラ駐日ハンガリー大使館参事官、平田誠愛知県知事代理政策企画局国際課長、矢野秀則名古屋国際センター理事長）の紹介、祝電の披露が行われました。



第一部は「ハンガリーの調べ」と題したコンサート、セルビア国籍のハンガリー人ロバート・ボルショスさん（クラリネット）、ビルマン良弓光さん（バイオリン）、田中ゆりあさん（ピアノ）に寺西むつみ県議会議員より、ハンガリーの作曲家（ヴェイネル・レオー、バルトーク・ベーラ、コヴァーチ・ベーラ）の作品が演奏されました。コヴァーチ・ベーラは現代ハンガリーの作曲家で、クラリネット奏者でもあり、ボルショスさんの師匠でもあったとのこと、「コダーイのオマーージュ」というタイトルの作品が披露されました。クラリネットのボルショスさんは、セルビア生まれのハンガリー人です。ハンガリーの周辺国には今でもハンガリー系の人々が暮らしています。第一次世界大戦までハンガリー領だったからです。ロバート・ボルショスの名前で現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者として活躍されていますが、ハンガリー風にいえばボルショシュ・ローベルトさんということになります。



ロバート・ボルショスさん 田中ゆりあさん ビルマン良弓光さん



塩谷博子さん

第二部は講演会、「ハンガリーの誇る高級磁器ヘレンドの世界」と題して、ヘレンド日本総代理店星商事広報担当の塩谷博子さんにより、スライドを使った講演が行われました。1826年に創業され、ヨーロッパを代表する磁器メーカーに成長したヘレンドの歴史からはじまり、イギリスのヴィクトリア女王、フランスのナポレオン三世皇妃ウージェニからダイアナ妃にいたるまで、ヨーロッパの王侯貴族たちに愛されたヘレンドのさまざまな文様（ヴィクトリア・ブーケ、インドの華、ロスチャイルド・バードなど）、文様には中国の影響（シノワズリ）や日本の影響（柿右衛門の写し）が見られること、熟練の陶工やペインターたちの高度な技術を使った製造工程などが、鮮やかな映像とともに紹介されました。また、大相撲の優勝力士に贈られる友好杯がヘレンド製の大壺であることも紹介されました。

会場には最新の食器を使った豪華なディナーセットも展示されました。交流会のときには大勢の人がテーブルのまわりに集まって、美しくセッティングされたヘレンドの食器を間近にながめたり、写真にとったり、講演者の塩谷さんに質問したりしていました。

豪華なディナーセット



講演のあとは、犬山市の子どもたちの表彰式が行われました。愛知県ハンガリー友好協会ではこのところ毎年子どもの絵の交換を行っていますが、今年はハンガリー南部の町ペーチ近郊の小さな村エゲラグにあるサラータ・アラニ・ヤーノシュ小学校と絵の交換をしました。この小学校とは以前にも一度、絵の交換をしたことがあり、今回

が二回目になります。ハンガリーに送る絵を描いてくれた愛知県犬山市の子どもたちひとりひとりに、来賓のハンガリー大使館参事官エルデーシュ・アティツラさんから表彰状が

贈られました。エルデーシュさんはハンガリーと流暢な日本語で表彰状の文面を読みあげてくれました。ちなみにエルデーシュさんは大相撲の優勝力士に表彰状と友好杯のヘレンド製大壺を贈呈する役目の人でもあります。



エルデーシュ・アティツラさん

犬山市の子どもたちの絵はすでに4月にエゲラグのサラータ・アラニ・ヤーノシュ小学校で展示されました。そのときの様子取材した地方テレビ局のニュースを上映したところ、自分の絵が映っていたと喜んでいたりお子さんもいました。



後ろのスクリーンがテレビ放送



展覧会の様子

エゲラーグの子どもたちの絵とともに、向こうの展覧会の様子を写した写真も展示しました。

子どもたちの絵の下には、ハンガリー刺繍サークルの作品がところ狭しと並べられました。



《犬山の子どもたちの絵がハンガリーで展示されました》

ハンガリーの南部、エゲラーグにあるサランタ・アラニ・ヤーノシュ小学校で4月に犬山の子どもたちの絵の展示会が行われました。ハンガリーの子供たちはとても熱心に見ています。この日はテレビの取材もありました。



《 役員会 》

6月23日の役員会には9人の役員が出席、ハンガリーフェスティバルの反省や総会の準備などを話し合いました。役員会はほぼ毎月行っていて毎回10名ほどの役員が出席して、会員の皆さんに楽しんでいただける企画を練っています。今回は藤川会長秘書の宮島さん(右端)、酒井副会長秘書の鈴木さん(左端)もご出席くださいました。

当協会役員会は、政治家の先生方、研究者、企業人、もちろんハンガリー人も含めて、いろんな立場の人たちで構成され、沢山の意見と良い知恵がいっぱい、会議では白熱した話し合いがなされます。この役員会が組織の要で、皆さん真剣です。みんなで作くり上げるのはとても楽しいことです。



鈴木 賀来 早稲田 志村 アンドール チーラ 大塚 北山 宮島

《大相撲名古屋場所表彰式ーハンガリー国友好杯授与式》



7月26日(日)大相撲名古屋場所千秋楽、ハンガリー大使の代理として協会のゾンボリ・アンドール理事が優勝者の白鵬関に表彰状とヘレンドの大きな器を贈呈しました。この友好杯は他の国よりも大きく又非常に美しく豪華なものです。土俵上に設置されると、会場の皆さんから大きな声が上がりました。

場内放送では、「愛知県ハンガリー友好協会理事ゾンボリ・アンドールさん」と紹介があり、今年で3回目のアンドールさんはとても堂々と表彰状を声高らかに読み上げました。その様子はNHKテレビで放送されましたのでご覧になった方もあると思います。

《ナトゥール農園》

会員の大塚奈美さんとラーザール・アティツラさんの農園です。
ハンガリー人の心の故郷・トランシルヴァニアの農法を瀬戸市での農業に融合させて、
化学肥料や農薬を使わない畑だそうです。
農園の様子は、facebook ページ <https://www.facebook.com/naturkert> でご覧いただけます。購入方法等は naturkert2015@gmail.com まで。



ビーツ (火焰菜)



西洋インゲン



とうもろこし

《ハンガリーの野菜》

ハンガリーの種で、きゅうり、パプリカ、白にんじんを志村が育てています。
きゅうりは種まきが遅かったのでまだ小さな苗ですが一週間後くらいにミニきゅうりが採れそうです。パプリカはまだ 2 個だけです。右の緑は 10 月ごろ真っ赤になり、総会の時に飾りますね。白にんじんも良い感じに育ってます。クリスマス会の材料で楽しみにしててください。



きゅうり



パプリカ



パプリカ



白にんじん

《今後の行事予定》

- * 2015 年度通常総会：10 月 26 日(月)18：30～名鉄グランドホテル
- * ハンガリー料理でクリスマス会：12 月 13 日(日)名古屋国際センター
詳細は改めてご案内いたします。